

-和 5 年 7 月 吉 日

日高臨床医勉強会のご案内

令和 5 年 7 月の「日高臨床医勉強会」を下記の通りご案内申し上げます。

日常診療でご多忙中とは存じますがご臨席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

日 時：令和 5 年 7 月 27 日（木） 19：00～20：00

場 所：ひだか病院 診療管理棟 3 階 講堂

※当日は健康観察およびマスクの着用など感染対策にご理解・ご協力をお願い致します。

<演題>

「ひだか病院外科における最近の手術症例について」

座長	ひだか病院	外科
診療部長	山口	和哉
演者	ひだか病院	外科
部長	佐原	稚基

日高医師会学術担当理事 丸山 晋右

事務局 ひだか病院 患者支援センター

TEL:0738 (24) 1786 (直通) FAX:0738 (24) 2007 (直通)

○抄録

外科医の減少傾向による定数減やコロナ禍の影響もあって、ここ数年のひだか病院外科の手術件数は増加が望めない状況が続いてきた。今後は少しずつでも手術症例数の増加を目指して努力していきたいと考えている。そこで、今回、当科における最近の手術症例の動向について、あらためて検証した。

近年の主な消化器外科手術件数の推移をみると、以前より局麻の小手術は減少しているが、少なくとも過去5年間は主要疾患（胃癌、大腸癌、鼠経ヘルニア、虫垂炎、胆石症）の手術件数に大きな変化なく、ほぼ横ばいであった。過去3年間の主要手術について術式別の症例数は、胃全摘術17例（腹腔鏡12、開腹2）、胃切除術38例（腹腔鏡31、開腹7）、直腸切除・切断術15例（腹腔鏡14、開腹1）、結腸切除術47例（腹腔鏡41、開腹6）、鼠経ヘルニア修復術78例（腹腔鏡55、鼠経法23）、虫垂切除術32例（腹腔鏡31、開腹1）、胆摘術62例（腹腔鏡59、開腹3）であった。大半は鏡視下手術であり、開腹手術となった理由は、開腹既往による癒着、局所の高度進行癌、悪性が疑われる胆嚢ポリープや前立腺手術後の鼠経ヘルニア等であった。

またこの機会に、上記の主要手術に比べて症例数は少ないが、最近当科で行った以下の手術症例について実際の手術動画を供覧する。

- （症例1）74歳、女性 食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術
- （症例2）79歳、女性 直腸脱（再発）に対する腹腔鏡下直腸固定術
- （症例3）60歳、男性 胃GISTに対する腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）
- （症例4）88歳、女性 内視鏡治療困難な胆管結石症に対する腹腔鏡下胆管切石術
- （症例5）73歳、男性 憩室炎によるS状結腸膀胱瘻に対する腹腔鏡下瘻孔閉鎖、S状結腸切除術

主要消化器外科手術のみならず、上記のような比較的頻度の少ない鏡視下手術においても積極的に取り組んでいる。地域の諸先生方には、今後も変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、外科治療のより一層の充実を図っていきたい。



**当日は駐車料金を無料とさせていただきます。
院内の会場まで駐車券をお持ちください。**

外科 外来診療担当医師表

※担当医師名の前に付いている○数字は地域連携枠の予約可能人数です。

令和5年7月現在

		月	火	水	木		医師名
外科	1診	②山口	②佐原	②佐原	②山口	②辻	山口 和哉 佐原 稚基 辻 俊明
	2診	辻		辻	佐原		

患者支援センターでは、地域の医療機関からのご紹介患者様の診察・検査についてFAXによる事前予約を受付けています。

予約受付時間 平日（月曜日～金曜日） 午前8時30分～午後5時15分迄

電話 0738-24-1786（直通） FAX 0738-24-2007（直通）

ひだか病院 患者支援センター